2022-2023RIテーマ
イマジン ロータリー

第2600地区　丸子ロータリークラブ会報　（創立1963年8月28）

MARUKO Weekly Report

2022-2023丸子ＲＣテーマ
創立60年　より深い絆でロータリーの夢を叶えましょう

RI会長/ジェニファーＥ.ジョーンズ　D2600ガバナー/上沢広光
会長/宮本伸司　副会長/河野正美　幹事/斎藤育子　会報委員長/ 小宮山陽一

第2793例会　2022年9月29日　Vol.60/No.10
夜間例会

【会長挨拶　宮本伸司会長】

皆さん今晩は。
12日ガバナー公式訪問ご苦労様でした。
上沢広光ガバナーよりクラブ内で職業奉仕セミナーを行うよう話がございました。
お酒を飲みながらざっくばらんな雰囲気の中で其々の職業を通じて職業奉仕についてディスカッションをしてほしいとのことでした。
今年度前半これから色々な行事予定がありますので、年を越してそんな機会も設けたいと思います。
今日は、久しぶりに皆さんにお逢いしましたのでゆっくり話をしながらおいしい焼き肉を沢山食べて明日の活力にしましょう。

【例会の記録】
*司　会　山浦智城さん
*ＳＡＡ　笹井寿美枝さん

【出席報告】
会員数　40名（内出席免除者　14名）
出席者数　9名

【ポールハリスフェロー受賞者】
井出浩史さん

【マルチプルポールハリスフェロー受賞者】
久田照重さん

【にこにこＢＯＸ報告】
宮本伸司さん、佐藤重喜さん、小宮山陽一さん
服部正さん、栗木悦郎さん、小池功二さん
佐藤恵太さん、奥寺浩司さん、山浦智城さん
本日の喜投額　9,000円
今年度累計額　128,000円

事務所/〒386-0404　上田市上丸子1695　丸子コミュニケーションセンター内
TEL/0268-42-3988　FAX/0268-42-4105　E-Mail/marukorc@siren.ocn.ne.jp

「メークアップ；Make-Up」　とは

ロータリー情報　蓼科ＲＣ山浦俊一様より

「ロータリーは、例会に出席することが大切です。必ず出席するように」と、先輩会員から聞かれて悩んでいる新会員も多いと思います。
仕事の都合で出席できないときは、どうすればいいのか？

そんなときに、「メークアップ」をすればよいのです。
メークアップ“Make-Up”、英和辞典を引くと、多くの意味が並んでいます。
「化粧をする」「決算、精算する」「取り戻す」など。
そして、あるかたちのものを補填したり、帳尻を合わせたり、といったニュアンスの言葉であることに、気付きます。

ロータリアンの三大義務は、ご存じのように、「例会の出席」「会費の納入」「ロータリー雑誌の購読」です。前述のように、どうしても仕事の都合などで例会に出席できない場合、それを補うために、他クラブの例会などに出席するのが「メークアップ」。
日本語で言えば、「出席補填」ということになります。

：ガバナーズレターより

2019-2020 年度規定審議会　**メークアップ**について

【2019 年規定審議会】 各クラブが細則で別途定めない場合のメークアップ期間は「年度内」となりました。

【ここがポイントです !】

・メークアップ期間は、各ロータリークラブが細則で定める場合に限り、自由に決定することができます。
・出席の意義がなくなったものではありませんので、ご留意ください。

「出席なければ親睦なし。親睦なければ協力なし。協力なければ奉仕なし。」

・メークアップには、クラブの奉仕プロジェクトへの出席等、様々な方法があります。

【2016 年規定審議会】　例会運営等につき各ロータリークラブに大幅な柔軟性が認められ、メークアップ期間に関 しても各ロータリークラブが細則で別途定めることができるようになりました。
各クラブが細則で定めない場合のメークアップ期間は、標準ロータリークラブ定款に則り、 例会（または例会の定例の時）の前後 14 日と決まっています。

ロータリーの友8，9月号より

ロータリー米山記念事業の基礎知識

ロータリー米山記念奨学会とは、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自の事業ですが、国際ロータリーからも国内全34地区の他地区合同活動として認められています。

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。
これまでに累計で、世界129の国と地域からの留学生22,875人を支援しています。

事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブの当時の会長古澤丈作氏によってつくられた、海外特にアジア諸国から優秀な学生を日本に招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。
“日本のロータリーの父”と呼ばれ若い人たちへの援助にも力を注いだ米山梅吉氏（1868～1946）の生前の功績をたたえて名づけられました。タイから初めて奨学生を迎えてから以降、海外からの招へいでなく在日留学生への支援に方針を変え、東京ＲＣの単独事業から全国の地区に拡大・発展。時代とともに変化してきましたが、ロータリアンと外国留学生との交流を通じて国際親善と世界平和に寄与するという事業の目的を今でも貫いています。

米山奨学制度の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。
米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員が「カウンセラー」となって日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は、月1回以上例会や奉仕活動に参加し、大学生活だけでは得られない出会いと日本心、ロータリーの精神を学びます。

ロータリアンからの寄付のほとんどは、奨学金に活用され、一部が事業費として使われています。
米山奨学金には、普通寄付と特別寄付の二種類があります。
普通寄付は、クラブが決めた金額に会員数をかけた金額で全クラブから納入されます。
特別寄付は個人・法人・クラブからの任意の寄付で寄付金額は自由です。
米山奨学生の採用数は、ほぼ寄付金額で決まります。全体の寄付が増えれば採用学生も増えます。
地区割当数は、地区実績（個人平均寄付額）により奨学生の採用枠が決まりますので、一人でも多くの留学生を受け入れるために米山奨学寄付への協力をお願いします。